

ABSTRACT

日本での初音ミクの存在

序論

現時点での日本の音楽業界は、「AKB48」や「モーニング娘」などの新興アイドルグループに人気が集まっている。アイドルグループのファンは彼女たちの歌や踊りに魅了されている。一般的に、こうしたアイドルは人間である。

しかし、初音ミクの登場は、多くの人々を驚愕させた。初音ミクはもはや人間ではない。彼女は仮想人間であり、ホログラム投影技術を通じ、ステージでコンサートを行うことが可能である。初音ミクは日本で社会現象となり、初音ミクをフィーチャーした音楽コンサートは多くの人々でにぎわい、各イベントのコンサートチケットが完売したほどの人気である。初音ミクの人気は現在でも変わっていない。こうした仮想アイドルという新しい位置づけが初音ミクの人気の主な理由である。

当初、初音ミクは、ヤマハクリプトンフューチャーメディアによって作成されたデジタル音声を使用し、歌を生成するソフトウェアであった。2007年8月31日リリースされた初音ミクの声は藤田咲という声優の声を仮想化技術によって声帯変化させたものを基に作成されている。

世界中でもっとも人気のあると考えられているのは初音ミクの2nd Generation (第2世代) 版ボーカロイドである。初音ミクアペンドが2010年4月30日にリリースされたが、これは前作のミクの更新バージョンであり、Soft, Sweet, Dark, Vivid, Solid, Lightの6種類の初音ミクが含まれている。

本論

Youtube に非常によく似たウェブサイトのニコニコ動画では、初音ミクの認知と人気に莫大な貢献を果たした。ニコニコ動画は初音ミクサウンドバンクを使用して作成された曲とビデオの投稿サイトとして利用されたいる。ミクの認知と人気上昇につれて、ニコニコ動画に共同コンテンツ作成の

ための場所を設けた。ユーザーによって創られた人気のオリジナル曲は、他のユーザーがイラスト、2D および 3D でアニメーションやリミックスなどを作成し、一部のクリエイターは自分の未完の作品を展示してアイデアを求めるといったことも行われている。

ミクの人気はアニメなどの媒体からさらに高まっている。漫画はストーリーテリングの多くの可能性を探究し、はちゆねミクと巨大なサイズ敵との戦いから、自宅の中での悪用に至るまで、数々の冒険を紹介している。そうしたストーリーや漫画の中全体の設定は全て非公式のものである。また、ミクの声は、アニメシリーズ、アキカンのエンディングテーマのひとつに使用されている。Lucky Star OVA では、柊かがみが魔法のようにミクのコスプレに変身する。

初音ミクから始まるリズムゲームのシリーズ：プロジェクト DIVA は初音ミクやその他のボーカロイドクリプトンだけでなく、「秋田ねる」のような“ファンによって創られた”ボーカロイドを採用し、セガのライセンスの下で

製作された。Tinier Me というユーザーは彼女のアバターに似せることでファンが増え、人気が高まり、彼らのサービスのためにミクのように見える衣装を作った。そしてセガは、2011 年 4 月に新たな初音ミクプロジェクトを発表した。

バーチャルアイドルとして、初音ミクは 2009 年 8 月 22 日にさいたまスーパーアリーナでライブアニメロサマーのイベント中、彼女初の"ライブ"コンサートを行った。ミクはまた、2009 年 11 月 21 日のシンガポールのアニメフェスティバルアジア (AFA) の中で、彼女の初の海外ライブを行った。2010 年 3 月 9 日に、"初音ミクは感謝祭 39 の日感謝祭"と題したミク初のソロライブパフォーマンスは、東京の、お台場、ゼップ東京で開かれた。またミクコンサートは LA でのノキアシアターで 2011 年 7 月 2 日にアメリカで行われロサンゼルスで 2011 年のアニメエキスポでのライブ。コンサートは、以前"39 の日感謝祭"のコンサートと同じ形式に従った。

結論

初音ミクはボーカロイド製品プロモーションの先陣を走ること成功し、収益性の高い大規模なプロジェクトはクリプトン・フューチャー・メディアに巨額の収益という甘い果実をもたらした。ソフトウェア、コンサートチケット、商品だけにとどまらず、また、日本だけでなく世界中の視聴者の人気も高まり、初音ミクグッズの売り上げが上がり続けている。

「クール・ジャパン」と言われる日本文化の海外での人気は、インターネットを媒介にして新たな広がりを見せている。コンピューターで人工的に歌声を合成するソフトウェアのイメージキャラクターとしてつくられた仮想アイドル歌手「初音ミク」は、日本だけでなく米国やアジアなどで多くのファンを獲得している。その背景には、インターネットの動画投稿サイトの存在がある。一方、大手IT（情報技術）企業のサイバーエージェントが運営するSNS（交流サイト）の売り物は、ユーザー同士がコミュニケーションに

使うアバター（自分の分身）であり、多彩な「かわいい」アバターをユーザーに提供することで、世界のSNS大手に対抗しようとしている。

仮想化技術の発展によって生まれた初音ミクは多くの人々に楽しみを与えている。初音ミクは今日の日本の大衆文化製品（クールジャパン）として日本だけでなく世界で有名になり愛されている。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
ABSTRACT	vi
DAFTAR ISI	vii
DAFTAR GAMBAR	viii
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Pembatasan Masalah	11
1.3 Tujuan Penelitian	11
1.4 Metode dan Pendekatan	12
1.5 Organisasi Penulisan	15
BAB II KERANGKA TEORI	16
2.1 Definis Pop	16
2.2 Populer dan Faktor yang Berpengaruh pada Kepopuleran	19
2.2.1 Pers	20
2.2.2 Penggemar	23
2.3 Definis <i>Idol</i>	24
2.4 Budaya Virtual, Realitas yang Termediasi	26

2.4.1 <i>Virtual Reality</i>	28
2.4.2 <i>Augmented Reality</i>	29
2.4.3 <i>Mixed Reality dan Modulated Reality</i>	31
2.5 Simulasi dan Simulacra	32
2.6 <i>Hyper Reality</i>	33
2.7 Tentang Vocaloid	35
2.8 Tentang Hatsune Miku	38
2.9 Penghargaan Prestasi Hatsune Miku	41
BAB III KEPOPULERAN HATSUNE MIKU	45
3.1 Fetisisme komoditas Crypton Future Media	45
3.1 Faktor yang Memunculkan Hatsune Miku dalam Dunia Pop	47
3.1.1 Penayangan di Situs Internet	41
3.1.2 <i>Game Mixed Reality</i> Hatsune Miku	49
3.1.3 Konser Hatsune Miku	53
3.2 Faktor-faktor yang Melambungkan Kepopuleran Hatsune Miku	58
3.2.1 Tolak Ukur Popularitas Miku	58
3.2.3 Fans Hatsune Miku	60
3.3 Dampak Kultur Pengaruh atas Kehadiran Hatsune Miku	65
3.3.1 Hatsune Miku <i>Cool Japan</i>	65
3.3.2 Dampak Hatsune Miku pada Produk Kebudayaan <i>Cosplay</i> di Jepang ..	67
3.3.3 Interpretasi Umum Masyarakat terhadap Kehadiran Hatsune Miku....	69
BAB IV KESIMPULAN	72

LAMPIRAN GAMBAR

DAFTAR PUSTAKA

RIWAYAT HIDUP PENULIS

DAFTAR GAMBAR

Gambar 1.1 Press Release Tentang Konser Hatsune Miku.....	2
Gambar 1.2 Press Release Harian Metro di Inggris Tentang Hatsune Miku	3
Gambar 1.3 Komponen <i>Mediated Reality</i>	5
Gambar 1.4 <i>Press Release</i> Vocaloid Hatsune Miku DTM magazine 2007.....	2
Gambar 1.5 <i>Press Release</i> Miku <i>Append</i> DTM Magazine 2010.....	9
Gambar 2.1 Kontinum Virtualitas.....	32
Gambar 2.2 Hatsune Miku Sebagai Toyota <i>Icon Press Release</i>	42
Gambar 2.3 Hatsune Miku dalam Konten Google Chrome.....	43
Gambar 3.1 Daftar Produk Vocaloid	47